

京都府立高等学校 PTA連合会通信

第1号

【発行】
京都府立高等学校
PTA連合会



京都府立高等学校
PTA連合会
会長 鈴木 良彦
(府立桃山高等学校
PTA会長)

皆さんこんにちは。令和3年度京都府立高等学校PTA連合会(以下高P連)会長、府立桃山高等学校PTA会長の鈴木です。日頃は高P連の活動に御理解と御協力いただき、まことにありがとうございます。

はじめに令和3年度の卒業生の皆さん、保護者の皆様。御卒業おめでとうございます。皆さんの高校生活は、新型コロナウイルスの影響をまともに受け、困難を強いられたものであったと思います。そのような中でも、一人ひとりが目標に向かい、努力を重ねられたことに敬意を表します。また、保護者のひとりとして会員の皆様へ、卒業の喜びを分かち合えればと思います。

そして令和4年度新入生の保護者の皆様。この度はお子様の高校入学・進級おめでとうございます。コロナ禍での受験は、大いに不安だったのではないのでしょうか。いまだ先行きが見通せない中、無事入学・進級を迎え、安心されていることと思います。4月からは期待と不安の中、新しい環境での生活が始まります。特に初めて高校生の保護者となる方は不安が大きいと思います。ぜひPTA活動を通して高校のことを理解していただければ願っています。高校の保護者は小・中とは異なり、地域の繋がりが薄くなります。また、学校に来る機会も少なくなります。そのため学校の子どもたちの状況がわかりづらくなります。その



令和3年度 理事の皆様

様な時、PTA活動に少しでも参加いただければ、不安の解消にもつながります。京都府高P連は、全日制及び定時制の府立高等学校と支援学校のPTAから構成されています。そして、本会は各学校のPTA活動を支えるための組織であり、その役割は、まず各府立学校のPTA間の連携を図り、その活動を支援し、交流、推進することです。また近畿地区高等学校PTA連合会、全国高等学校PTA連合会に所属しており、それぞれのPTA大会の調整や、京都府の取組の発信、全国のPTA組織との連携も行っています。さらに、学校生活でお子様にアクシデントが起きた場合に、できるだけ保護者の負担を減らすための団体保険の普及にも取り組んでいます。高P連の団体保険では、団体割引で掛け金を安くし、高校生活に必要な補償の充実を目的としています。特に令和4年度入学生からは一人一台のタブレット端末を購入し、教育活動に使用することになりました。新しい保険設計は、このタブレット端末を含む携行品の補償を厚くする設計となっています。この保険は、京都府高P連が団体契約者となり、運営事務局が事務局が行っています。そのため、保険内容は理事会の検討会で決定され、収支については、総会での承認が必要とされます。お子様の安心、安全な学校生活の方が一に備えるため、ご検討いただければと思います。

コロナ禍を通じ、各学校のPTAも負担にならない活動を模索しています。特に高校のPTA活動は半ば強制的な参加ではなく、保護者同士の関係、学校と保護者の連携、そしてなにより子どもたちの学校生活をより良くするためのものだと考えております。参加するまでは、不安が大きいと思いますが、PTA活動に参加した方からは、「学校の様子がよくわかって、参加してよかった」と高評価をいただいています。趣旨にご賛同いただき、積極的に参加いただけることをお待ちしております。

全国高等学校PTA連合会 大会島根大会 報告

「縁つくり」
「新たな明日への礎のために」

当初は令和2年度に予定されていた島根大会が、令和3年8月25日(水)島根県民会館からの無観客ライブ配信で実施されました。島根県立松江商業高校吹奏楽部の元気いっぱいの演奏に続き、来賓、主催者、表彰者等が参加され、例年のように舞台演台での開会宣言や挨拶が粛々と進められました。京都府関係では表彰者として、奥野貴史京都大会(前全高P連大会)実行委員長と、鈴木良彦連合会会長が特別表彰として登壇しました。大会のメインイベントとして、島根県松江市ゆかりの小泉八雲を題材に、小泉八雲記念館館長 小泉 凡 氏の講演と、俳優 佐野 史郎 氏、ギタリスト 山本 恭司 氏による「小泉八雲 朗読のしらべ」が、記念講演として行われました。また、島根県立浜田商業高校郷土芸能部によるアトラクション「石見神楽〜大蛇〜」が勇壮に演じられました。12月未までアーカイブ配信された分科会においても、高校生によるア



アトラクション「石見神楽〜大蛇〜」が勇壮に演じられました。12月未までアーカイブ配信された分科会においても、高校生によるア

大阪に「おいてやす」

令和4年度近畿地区高等学校PTA連合会大阪大会

近畿地区高等学校PTA連合会大会大阪大会は、当初令和3年度開催が、コロナ禍で延期され、令和4年7月18日



小泉八雲朗読のしらべ

高P連取り扱いの保険について

1. 全国高等学校PTA連合会賠償責任補償制度

全国高等学校PTA連合会が団体契約者となって、単位PTAで加入いただいている保険です。在学中毎年更新されます。本人の怪我等は日本スポーツ振興センター災害給付で給付金が出ますが、他者への損害賠償はありません。年掛金400円で生徒本人に起因する賠償責任やPTA活動に起因する賠償責任をカバーする保険です。

2. 高校生総合補償制度

京都府高P連が団体契約者となっている団体割引保険です。

賠償責任補償に重ねて、生徒の傷害・疾病・学校等での自分の持ち物の破損等を補償する任意で加入する保険です。加入は高校入学時に募集し、掛け金は3カ年分です。団体契約で、割引料は現在15%です。新たに、令和4年度からひとり1台使用する学習用端末(タブレット等)の携行時破損等を厚くしています(携行品損害)。それ以外にも育英資金や新型コロナウイルス感染症に感染した場合に備える「特定感染症補償」、自転車事故等にも対応した総合型の保険です。



3. PTA会員行事参加傷害保険

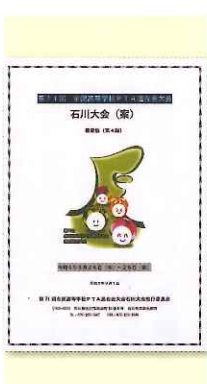
PTA行事参加中や会場までの往復途中での傷害を補償する保険です。

以上が、府高P連が取り扱っている保険です。府高P連は非営利団体ですので、保険の取り扱いに関わる事務費については、事務局の運営、各種事業費、単P活動補助費として、PTA活動の推進を図る事業に使われます。

全国高等学校PTA連合会 大会石川大会 予定

輝く未来への礎
「親から始める新時代の教育」

令和4年度の全国高等学校PTA連合会大会は、令和4年8月25日(木)、26日(金)に石川県金沢市で開催されます。いしかわ総合スポーツセンターをメイン会場に、全国から参加者を募りつつ、島根大会同様オンラインでの参加も可とする、ハイブリッド方式となる予定です。令和4年度になりましたら、改めて各単位PTAにご案内します。コロナを吹き飛ばす熱い大会を期待ください。



石川大会(案)

令和3年度京都府立高等学校PTA連合会総会並びに研究大会

令和3年度京都府立高等学校PTA連合会総会並びに研究大会が、京都府において新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出されたため、当初の予定よりおよそ1ヶ月遅れて、7月9日(金)にルビノ京都堀川で開催されました。本来は各単位PTAから多くの会員の皆様に一堂に会していただき、昼食を挟んで盛大に開催していただきたいが、開催日は未だコロナ禍のまっただ中ということで、半日開催、総会・研究大会の模様をZoomウェビナーでライブ配信するという、初めての試みで実施しました。令和2年度は実施されず、2年連続での中止はなんととしても避けたいと、ライブ配信をお願いした業者と綿密に打合せを重ね、緊張の中で当日を迎えました。令和3年度理事の皆様は当日初めて顔を合わせ、また令和2年度理事の皆様も昨年度は会合の機会も少なく、どうなることかと前中のリハールに突入しましたが、さすがに各校PTAのリーダーの皆様です。リハールでの気づきをライブ本番に活かす、スムーズに滞りなく進行していただくことが出来ました。総会に引き続き研究大会も同様に開催しました。実践発表では木津高校PTAと朱雀高校定時制PTAのそれぞれ会長から、特色ある活動が楽しく紹介されました。ただ、コロナ禍で現在はなかなか活動をすることが難しく、子どもたちの支えとなることを工夫して取り組まれている様子も紹介いただきました。また、行政説明として京都府消費生活安全センターから、令和4年4月に20歳から18歳に引き上げられる成年年齢で具体的に何がかわるかを、映像を交えて説明いただき、視聴された多くの単位PTAからも大きな反響が寄せられました。今回のZoomウェビナーでの総会・研究大会について、大会後各単位PTAにアンケート調査を行ったところ、「視聴環境に問題はなかった」「コロナ禍としては最適な方法だった」「移動時間等を考えると、この方法も今後の主流にして良いのではないか」等の肯定的な意見がある一方、「臨場感がなかった」「他のPTAとのコミュニケーションがなくて」「コロナ収束後は元の集会形式に戻してほしい」との声も聞かれました。様々な環境の元で、今後の総会・研究大会を考えさせられる大きなきっかけとなったことは間違いありません。



令和3年度京都府立高等学校PTA連合会総会並びに研究大会

京都府PTA指導者研修会「府立学校ブロック別研修会」

【山城ブロック】

11月27日(土)午後、あいにくの雨模様の中、文化パルク城陽で各校からの参加者数を制限する形で実施されました。片山嘉徳社会教育課長、加田典義西城陽高校PTA会長の挨拶に続き、「家庭と学校で非認知能力を伸ばすために」と題して、点検化できない非認知能力研究についての第一人者である岡山大学中山芳一准教授の講演がありました。現代ではAI(人工知能)がクローズアップされていますが、「創造的に課題解決する役割」や「他者に対して働きかける役割」は人間にしか出来ず、これからはAIと人間がパートナーになる時代であるとの考え方で、旬な内容を披露されました。大学の入試制度が変わる中、これからは非認知能力を伸ばすことが重要であると万説、その方策として、「意識づけ」が大切であることを述べられました。息づく間もなく説明されましたが、非常に分かりやすく、ポイントを絞った解説で、参加者の心にぐいぐい食い込んで来る内容でした。



【京都市部ブロック】

11月20日(月)午前中に京都府総合教育センターで、各校よりの参加者を制限して実施されました。全体会では等間隔で座席を隔てたセンター講堂棟で、市部すべての学校から各会長はじめPTA役員、教職員が集まり、「コロナ禍の大会を成功に導く意気込みが感じられました。吉村 要 指導部長、鈴木良彦 連合会会長の挨拶に続き、歌人で京都大学特任助教の永田 紅 氏の「短歌と研究」という進路を志したか」と題した講演が行われました。永田氏は共に著名な歌人のご両親(永田和宏氏、河野裕子氏)の元、12歳から短歌を作り始める一方、細胞生物学に強い関心を寄せ、研究者の道に進まれました。講演の後半、家族の闘病から別れまでを、お互いの短歌のやりとりを中心に切々と語られました。文字や歌に残るということとは、何時までも生き続けることとなるのがわかり、感銘を受けました。心温まる講演に、参加者も聴き入っていました。



各部会報告

【定時制部会】

10月6日(水)午後7時から鳥羽高等学校において定時制部会が開催されました。部会長の田中孝和理事(東陵高校PTA会長)、中村知子理事(鳥羽高校PTA会長)、中村知子理事(鳥羽高校定時制PTA会長)はじめ、鳥羽高校定時制、朱雀高校定時制から関係者が集まり、定時制PTAの活動状況の交流、現状と課題、教育懇談会に向けての打合せ等、熱心に意見交換がなされました。現在、定時制部会参加校が2校となり、隔年で理事が回ってくるなど課題もありますが、夜間定時制

【口丹ブロック】

11月27日(土)午前、水雨が降りしきる中、北桑田高校視聴覚室で、オンライン配信と併用して各校少数の参加で実施されました。大下裕宣北桑田高校PTA会長、社会教育課長の挨拶に続き、「18歳成年」時代を迎えるにあたって」と題して京都司法書士会法教育推進委員の春日博貴氏が令和4年4月からの成年年齢引下げに際し、特に注意すべき消費者教育や「契約」の関係について、詳しく解説されました。18歳成年での未成年者取消権が保護されなくなる契約、さらに契約そのものについて分りやすく説明していただきました。また、近年増加している消費者被害について、その特徴や内容を解説いただき、若年層だけでなく、大人も気をつけなければならぬ気づきをたくさんいただきました。実践報告では、各校PTA会



の存在意義も踏まえ、今後も継続して活動していくことが確認されました。

【特別支援学校部会】

特別支援学校における大きな事業である「ふれあい・心のステーション」が9月1日、2日に大丸京都店で開催予定でしたが、コロナ感染症第5波の緊急事態宣言下であったこともあり、昨年度に引き続き中止となりました。また、例年グリーンランドみずほで開催されていた「特別支援学校高等部スポーツ交流会」は、今年度、10月2日(土)に舞鶴支援学校、向日が丘支援学校、宇治支援学校の3会場での分散開催となりました。

長から取組報告・情報交換が北桑田や亀岡や南丹や園部や豊雲や須知や丹波支援の順に行われました。

【両丹ブロック】

両丹ブロックでは、新型コロナウイルス感染症対策として、集合形態をとり、紙面とオンラインでの配信で実施されました。オンライン動画は講演と実践発表を中心に11月17日(水)から11月30日(火)の期間配信され、ブロック各校の多くのPTA会員、教職員が視聴しました。事前に配布された両丹ブロック指導者研修会冊子では、研修会担当の久美浜高校・丹後緑風高校久美浜学舎水口由貴子PTA会長、社会教育課長、中村隆倫峰山高校PTA会

交通安全啓発事業報告

令和3年度も各単位PTAで、子供たちを交通事故から守るため、「バイク4ない運動プラス1」、及び自転車マナーアップ安全指導推進の一環として、交通安全啓発事業に取り組みました。保護者と学校・地域が連携し、効果的な指導を



行うために京都府教育委員会の補助を得て、各単位PTAまたはブロック毎に工夫を凝らした取組が展開されました。



近畿地区高等学校PTA連合会 令和3年度広報誌コンクール

毎年近畿地区高P連所属各府県市より選ばれた単位PTAの広報誌から、最優秀賞1、会長賞1、優秀賞2、奨励賞5他が選ばれます。令和2年度では本連合会から峰山高校PTAが優秀賞を受賞されました。令和3年度につきましても同様に実施することが決まっております。本連合会からは令和4年1月21日の第4回理事会において城陽高校PTA、久御山高校PTA、峰山高校PTAの3誌の応募が決まりました。また、久美浜高校・丹後緑風高校久美浜学舎PTA広報誌を特別賞として推薦しました。コンクールの結果は例年4月末頃に連絡があり、選ばれたPTAは令和4年度近畿地区大阪大会において表彰される予定です。

令和3年度京都府PTA指導者中央研修会

令和3年度京都府PTA指導者中央研修会が、7月13日(火)に京都国際会館で「今、あらためて考える家族の絆」をテーマに「コロナ禍からご家庭・学校・地域が繋がって」を大会スローガンで開催されました。コロナ禍で2年ぶりの開催となり、午前中のみ各単位PTAから最大2名までの参加と、制限の多い大会となりました。そのような中、高P連のほとんどの単位PTAから2名ずつ参加いただきました。大会

編集後記

高P連たより第1号をお届けしました。府立学校のPTA活動は楽しい!と思っただけの紙面作りに取り組みたいと思います。PTA活動は保護者にとって、「気づき」と学びの場でもあります。親子が共に学び、しっかりと向き合い、コミュニケーションをはかれる場がPTA活動となります。ぜひ、共に歩んでいきましょう。

